本紙は女性による平和と平等を推進します
回覧 □□□□□□□

発行所
全国婦人新聞社
〒160本社東京都新宿区西新宿
3-7-28　宝幸西新宿ビル
電　話　03（343）1846㈹
ＦＡＸ　03（348）1890
振替口座　東京（5）172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年　4,500円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

油脂総合加工メーカー
ミヨシ油脂

382億円増額だが…　前年度比

昭和63年度国の婦人関係予算案を聞く会

年金額の増加が影響

"努力"は見えるがなんともお寒い内容

昭和63年度
国の婦人関係予算案を聞く会

十五日、東京・代々木の婦選会館で、「昭和六十三年度国の婦人関係予算案を聞く会」（主催＝財団法人・市川房枝記念会、日本婦人有権者同盟）が開かれた。この説明会は、昭和三十八年を初回に毎年開かれ、今年で二十六回目。国の予算案の中で、婦人に関するものが、どのくらいあるのかを、具体的に知る唯一の機会といってもいいもので、関係者、関係団体からも注目されているものだ。この日の説明会では、総理府、文部省をはじめ、関係省庁から十人が説明を行った。昭和六十三年度の国家予算案の一般会計の総額は、五十六兆六千九百九十七億円。"ハマコー発言"で議長が一時滞ったり、予算委員長辞任といった一幕もあったが、それで中身が変わるわけでもなく、ただ、ひたすら防衛費の増大が目立つ内容だ。

市川房枝記念会、日本婦人有権者同盟

この日開会に先立ち主催者側を代表して挨拶した、日本婦人有権者同盟会長の松浦三知子さんは「内需拡大、対外援助、防衛費の突出が特徴の、昭和六十三年度予算案の中で、婦人関係予算がどう組まれているのか見たい」と述べたが、参加者からは、予算面だけでなく、婦人問題に対する取り組みについても質問が出されたりした。

昭和六十三年度の婦人問題企画推進関係予算（案）は、総計二十三兆八千四百五億円。前年度と比べると約三百八十二億円の増額。これは主に、厚生省関係で年金の額が増えたことが影響してのもの。前年度と比べ減額となったところは少なく、「新国内行動計画」の目標を具体化するための内容が盛り込まれるなど、"努力"は見えるが、金額の点から見ると、なんともお寒い内容と言えよう。

総理府関係の予算案は、四千九百十万円で、金額は、昨年とほぼ同じ、だが、これまでの全国会議の分が、今年から婦人情報ネットワークシステムの設備費として使われる。これは、ナイロビで採択された将来戦略を実行するためには、国内の行政機構の強化を図らなければ、との視点から行われるもので、婦人関係情報ネットワークをどのようにシスティマティックに行うか、専門家に集まってもらって検討、また、地方公共団体に情報を流すために、婦人情報資料集の発行も行う。

国連でも、昨年からナショナル・マシーナリーに対するセミナーが開かれており、国際的な意味でも、婦人情報ネットワークの必要性が唱えられていることから、日本でもこれを行おうというものだ。

文部省関係は、合計百十四億五千九百万円で、前年度よりも三億七千三百万円もの増額だが、その殆どが、専修学校教育の振興のための予算。

新規事業としては、ニュー・メディアや情報機器を使いこなし、暮らしに生かせるようにと「情報活用能力育成講座」、各地域に住む外国人や、海外から帰った人たちなどが多いことから、国際化が身近な課題であるとして、地域で草の根の交流をしようと「婦人国際交流フェスティバル」などが組まれた。

「婦人国際交流フェスティバル」は、都道府県・指定都市からの申請を受け、一県当たり一千万円、初年度四県に補助する。

厚生省の婦人保護対策関係予算案は、十四億九千五百万円で、三千五百万円の増額。婦人相談員手当、職員処遇、入所者処遇の改善がなされている。

保育対策予算案は、計二千十一億七千二百四十二万五千円で、前年度と比べ約四十七億の増額となっている。

乳児保育の対象がD6からD7へと拡大されるほか、保育所措置費特別調整費が新設される。

母子寡婦福祉対策は、二千四百四十億二千五十二万五千円。この中には、母子寡婦福祉貸付金、母子家庭等介護人派遣事業費、母子家庭及び寡婦自立促進費、児童扶養手当が含まれる。

児童扶養手当は、今年四月から、これまでの三万三千九百円から三万四千円に。引き上げ額はたったの百円！

母子保健対策は、前年度と比べ四・五%増の百六十七億千二百十四万七千円が計上された。新国内行動計画に力を入れているという農林水産省の、農村婦人対策関係予算案の合計は、三百五十四億七千二百万円。金額としては、前年度と大差ないが、農村地域での婦人の自己啓発、学習・社会活動を促進するため、農村婦人大学を開設したり、婦人たちの意見発表の場をつくろうと、農村婦人フェスティバルの開催などを計画。また、農閑期を狙い「農山漁村婦人の日」をつくり（今年の三月十日）、シンポジウムを開くなどの明日を拓く農村婦人育成事業費として、一億円を計上。

また、農山漁村での健康問題や高齢者問題が深刻であることから、この問題解決のため五年をかけて、健康の里づくり推進事業を行う。これは、健康問題の解決と、高齢者の知識や技術、経験を活用しようというもの。初年度は、健康づくり推進型、高齢者能力活用型をそれぞれ十七県で行うため、九千万円が新たに新設された。

新規事業か目白押しの労働省の予算案額合計は、百七十一億百万円。前年度と比べ三二・二%増。

新規事業としては、均等法施行後、婦人少年室に寄せられる相談や事案が複雑化しているので、これをスムーズに解決するため「機会均等事案ブロック別研究会」の開催、企業内で均等法が推進されているかどうかチェックし、個別指導をするため「機会均等推進責任者の選任勧奨及び自主点検の促進」、働く婦人の七〇%が既婚者であることから、「既婚女子労働者の生活時間・健康実態調査」、過去にどのような職業についていたか、カードにして選考に役立てようという「キャリアカードの開発等再就職女子活用事業の推進」、また、高齢化が進み、介護する人が不足しているので、介護の層を厚くしていくため、家政婦の技能向上、養成などのため「介護労働者の就業援助事業」を実施することが掲げられている。

海外通信　カナダ＝⑬太田みどり

無料の英語教室開設

ボランティアの先生募り

みどりの
バンクーバー
生活記
PART. Ⅱ

大学院生としての生活も、三年目ともなれば「プロ」の境地。小学校から数えたら、なんと十九年目の学生稼業です。わたしの場合、大学と大学院とのあいだに約六年のギャップがあり、勉強のやり方を思い出すのにほぼ一年を費やしてしまいました。でも、なんとかもうすぐ終わりそうです。大学卒業後、就職して半年くらいたった時から、毎日どんどん馬鹿になっていってる気がしたのは、まんざら思い過ごしではなかったみたいです。学生時代の友達と顔をあわす度に、何かおかしいねと話してたっけ。

寮に住んだからでしょうか。いろんな国からの留学生と知り合う機会に恵まれました。彼らとは、国の話しをしたり、家庭料理を持ち寄ったり。海外からの留学生は、年齢が比較的近い人が多く、興味や関心の向けかたが似ているという理由もあり、たくさんのよい出会いを経験しました。

留学生の配偶者たち（殆どは奥さん）とも、英語会話のクラスを企画・運営した関係でたくさん知り合うことができました。日本人の場合は、さっさと個人教師を見つけたり、語学学校に通うのですが、開発途上国から来ている留学生の場合は、経済的に配偶者の英語の勉強の面倒までは手がまわりません。そこで、ボランティアの先生を募り、無料の英語教室を開設したのです。このプログラムは大成功。コーディネーターをつとめた私は、先生がいない時は自分で教えちゃいますので、いつの間にかたくさんのお友達。

なかでも感心したのは、中国本土からやってきたチィンの場合。博士課程に在学中の配偶者のもとに到着した時、彼女の会話力は初歩の初歩。物理学の学位を中国で取っている彼女は、奨学金を受けて修士課程に進学するため、英語の勉強を始めます。一年後、猛勉強の甲斐あって大学院に合格しました。彼女の進歩の凄さといったら。配偶者の専攻も物理でこの二人はひとり娘を中国の親許に預けて、勉強を続けています。すごいエネルギー。

「サプラァイーズ／」PhD（博士課程）を終了しインドに帰国するハリーのためたサプライズ・パーティ

開発途上国留学生のエネルギー

開発途上国から来ている留学生に共通なのは、みんな自分の国を造っていくのだ！と言う気迫に満ちている事。明治のころに外国に出掛けた日本の留学生たちも同じようだったのでしょうねぇ。

同時に開発途上国からは、「プロの学生」もやって来ています。これは、自国で政府の要職や大学などで教職につくより、先進国で「奨学金」で生活するほうが、生活のレベルが高く保てるところに着目したプロフェッション。でも、わかるような気がする。人間便利さに慣れたら、後戻りはつらいもん。

わたしと同時期に始めたひとも、つぎつぎと終了して、今日はこの子の合格祝い、あしたはあの子のお別れ会。わたしの分も、もうすぐだといいんですけれど……。

☆ ★ ☆

「みどりのマルチ・リンガル・片言メモ」

「ジャンボ」（スワヒリ語）＝「こんにちわ」とか「やぁ」といった意味。丁寧に言う時は「ジャンボ・サーナ」。

ケニヤから来たシンティルはキクユ族の出身。恰幅のいい彼が片手を軽くあげて白い歯をニヤリと見せると、ここはもうアフリカ。

愛媛県伊方原発の出力調整実験

戦争中と同じ

小・中学生の集会

原発のない
地球を子ども達

十二日、愛媛県・伊方町にある伊方原子力発電所で、電力の需要に合わせて出力を急激に上げ下げする、出力調整実験が行われた。

この実験が行われると、燃料棒が温度差などで破損したり、出力が部分的に急上昇する可能性があり、チェルノブイリ型大事故を招く危険性もあるとして、現地、高松市では反対行動「原発サラバ記念・フェステバル」が十一、十二日に行われたが東京でも日比谷などでパレードや集会が開かれた。

東京でも反対行動！

その一つ、東京・原宿にある千駄ケ谷区民会館では、小・中学生を中心にした集会「子どもの未来はどうなるの？原発を考える小・中学生の集まり」では、原子力資料情報室々長・高木仁三郎さんが、子どものころの戦争体験を混えながら、チェルノブイリ事故が、ヨーロッパに及ぼした影響、原子力発電や出力調整実験についてわかりやすく講演。参加した子どもたちからも、活発な発言が相次いだ。

高木さんは、戦争中、大空襲に合った時のことを、未だに夢に見ると語り、自分たちが子どもの時"B29"のことばを意味もわからず覚えたが、今、ドイツの二才の子どもが、お父さん、お母さんということばの次に覚えたのがセシウム。

「日本の戦争中と同じと思いました」

また、原子力開発の会社に勤めていた時の経験を語り、どんなに、放射能をとじこめるのが大変なことか、放射能がもれるという内容のレポートは全て没となり、安全でないという声が会社内でどんどん消されるのでだんだん言わなくなってしまったと言う。

「ガイガーカウンターも、余りにも強い放射能には感知しない。二十年前ですら、放射能でかなり環境が汚れていることを知り、実験室の中だけだったら自分一人だけれど、外でフツーに咲いている花も汚染していることを知ってコワイと思った」と語り、大人が公表していることばかり鵜呑みにしないで、原発のコワサは何かを知り、子どもたちができることがあったら、どんどんして欲しい、と話した。

会場からは「反原発の署名を学校で集めようと、友人たちにコワサを話したが誰も信じてくれず、そのうち教師に見つかり"こんなことをして大人になったらどうするつもり？""親の言うことに騙されちゃいけない"などと言われた」という公立中学に通う女学生からの発言があった。また、四月に東京で行われる全国集会には、子どもたちだけで何かやろうという意見も出され、集会後、具体的な打ち合わせも行われた。

一方、東京・渋谷の神宮前公園では「2・11やめろ！伊方原発出力調整実験緊急行動」が開かれ、集会、パレードを行った。

集会では、同実行委員会から、通産省へ伊方原発の出力調整実験中止の申し入れなどの行動の報告や、各地での取り組みや訴えがあり、その後、千駄ケ谷の集会に集まった人たちも加え、約四百人（主催者発表）が、思い思いのプラカードやゼッケン、横断幕を手に、休日の渋谷の町へくり出した。

防衛庁前で日米共同行動

逗子米軍住宅建設に反対

ザ・リボンが主催

十七日、東京・六本木の防衛庁前で「逗子の米軍住宅建設に反対するザ・リボン日米共同行動！」（主催＝ザ・リボン）が行われた。

現在、アメリカ議会への陳情とアメリカ国民に理解を求めようと、逗子市の女性たち約七十名が、渡米している。

同じ十七日に、ホワイトハウスの裏にある公園・ラファイエットスクエアでは、逗子の女性たちの呼びかけに応えた、アメリカ市民が一緒になって、デモンストレーション（リボンパレード）を行ったが、日本でも同時行動をしようというものだ。

正午、防衛庁の裏手にある桧町公園には、逗子市をはじめ、いろいろな地域から有志が集まり、リボンと鈴を手に防衛庁へと向った。

防衛庁前では、リボンを持って、通過する許可を得ていたにも拘らず、"通さない"と言われ、通る、通さないで押問答する一幕もあったが、池子米軍住宅建設に反対して自然と子供を守る会、緑と子供を守る市民の会有志、グループ・ザ・リボンの名で、防衛施設庁長官・友藤一隆氏にあて「池子米軍住宅建設計画地における仮設・準備行為について」、池子で現在行われている全作業を中止、住宅建設計画に関して市民を代表する逗子市長との交渉を通じ、基本的合意をする努力をという主旨を盛り込んだ要望書を、無事、手渡した。

リボンには、池子を守ろうと「美しい逗子　美しい池子　私たちで守ろう」『池子の森を守って』などのメッセージが書かれ、中には二歳の女の子が描いた動物の絵のものや、逗子の富野市長のサイン入りのリボン、女優の吉永小百合さんのメッセージ入りのものなども…。

リボン・パレード後、集合場所の桧町公園に集まった参加者は交流会を開き、この日の行動に至った経過や、今後の行動について報告し合った。

防衛庁に要望書を手渡した逗子の松本千鶴子さんは「逗子市民は、おとなしい人が多いけれど、みんなあきらめないで、最後までやる人が多い。これから、何度も要望書を持っていくつもり」と話していた。

休刊のおしらせ

二月二十九日号は、都合により休刊といたします。次号は三月十日号となりますのでご了承下さい。

全国婦人新聞社

婦人手帳

☆★☆「武力にて制覇されしを祝ぐというしかも史実なき記念日」（深山あき）二月十一日の『建国記念日』、戦前の紀元節復活のこの祝日にはこだわらずにいられないと、各地で"忌念する会"が開かれた。わが家の近くで行われた集会をのぞいてみたが、参加人員が昨年よりずっと多く、一般の関心が少しは高まったのかしらと主催者と喜びあったのだが、翌日の新聞を見て、わが目を疑った。

★☆★祝う方の会の、それも極めつき右翼的な会に、野党の、護憲をの唱えている党が祝電をうっているのである。もっとも憲法は"護持"だが、自衛隊は違憲ではないといっている党だから、おかしくはないのかもしれないが——。史実でなくてもいいじゃないか、こだわりすぎる。むずかしいことをいわなくても、素直に"国の誕生"を祝えばいい。何しろ、祝日が増えるのは結構じゃない、という人が多い。だが私は、なしくずしに、一つ一つ既成事実を積みあげ、それを受けとめる方の感覚が、だんだんマヒして行くのが怖しい。何しろ"護憲の党"が、現実だから自衛隊を認めようといい、GNP一%枠突破にも、効果的な抗議さえしないのだから——。

☆★☆神戸市に住む主婦・深山あきさんが自費出版した歌集「風は炎えつつ」を見ている。深山さんは一九三二年（昭六）満州事変ぼっ発の年に小学校入学、軍国主義のただ中で教育を受けた。戦後、戦争への怒りから、一つ一つに疑問をもち、学び平和運動などに関心をもちつづけてきた。"戦前回帰"する世相に危機を感じ、このほど、自作の短歌から"社会詠"のみを選んで自費出版した。「社会詠は説明歌になってしまい、文学的感興がうすれ勝ちなのを承知で、あえて」という。「サラダ記念日」と正反対の重く暗い歌を見ながら、"あえて"出版した深山さんの心を思う。

★☆★「国のためという国とは何ぞ死なさるるはつね民衆にして」「侵略を怖るるゆえの自衛ぞと言えり侵略をなしたる国が」「少数となりゆくときになお重し非武装の〈声〉切り抜きて居り」

☆★☆「風は炎えつつ」希望の方は、尼崎市杭瀬北新町四―九―五―一〇一　石人社に。

季節の色をさわやかに…
食卓のアーチストに
色のきれいな
うすくちしょうゆ
ヒガシマル醤油
うすくち
HIGASHIMARU
ヒガシマル醤油
うすくち
うすくちは控えめにお使いください…

＊醸造元　兵庫県竜野市　ヒガシマル醤油株式会社

私たちの暮らし守れ

厳しい現状切り開け

税や社会保障など 正しく状況つかもう

日本婦人団体連合会で学習会

関恒義さんを招いて

一橋大学教授

日本婦人団体連合会（櫛田ふき会長）では『どうなることしの暮し』をテーマに、六日、東京・飯田橋の都婦人情報センターで関恒義一橋大学教授を招き、新年学習会を開いた。

今年もさまざまな問題が年を越し、大型間接税導入が再び言われるなど、年頭から厳しい幕明けとなったが、「こうした多くの問題は自然現象で起ったのではなく、裏には必ず仕掛人がいるはず。人間が起したことは、人間がきり返せないことはない」と、櫛田会長。

厳しい現状をきり開くにはまず状況を正しくつかむことが必要と、関教授の話を前に六人の参加者から問題提起があった。

関恒義一橋大学教授の講演

会場からの問題提起

「家計簿からみた大型間接税」について、新日本婦人の会事務局長の高田公子さんは「税や社会保障費の家計に占める割合は年々増大、家計を圧迫している様子が、会員の家計簿にも如実に現れている」と報告。政府が福祉をかくれみのにし、大型間接税を実施しようとしていることについて「きれいな花を贈られても、台所を預かる主婦は、大型間接税導入は許せない」

埼玉県で金属加工業を営む埼商連婦人部協議会副会長の玄間可那子さんは、業者の立場から「税、国保の個人負担増で、特に中小零細業者の中には国保が払えず保険証が交付されないため、医者にかかれず死んだ人もいる。私たちは軍事費増大のために殺されるわけにいかない」と怒りの発言。

このほか「国家主義を押しつけ、選別、差別による能力主義を推進する臨教審路線に反対」（日本高等学校教組婦人部長・亀山弘子さん）「住まいの問題を人権運動として考えよう」（婦人民主クラブ＝再建副会長・富永和重さん）「民主主義にのっとった部落解放を」（全解連婦人部・内海ハル子さん）「国家機密法、拘禁二法再提出の監視を」（自由法曹団婦人部・橋本佳子さん）と、それぞれの立場から問題を提起した。

これを受けて講演した関教授は「問題のすべてだが、政府が二十一世紀の国家の基本姿勢とする"新国家主義"へつながっている」と述べる。

政府が目指す"新国家主義"の考え方の基本となるのが、成熟化、高齢化、国際化、情報化の四つの"標語"だ。

「欧米型の近代的国づくりを達成（成熟）した日本はモデルがなくなり、独自の国づくりを目指す。そうして出てきたのが復古主義ともいえる"新国家主義"で、その具体的な政策が臨調路線です」

教育臨調では社会科の解体とともに道徳教育が強化され、研究交流のため、産官"軍"学協同が推進される。高齢化社会到来のもとでは、国の福祉予算が大幅に削りとられ、その分を地方自治に押しつけるが、地方自治では対応できないので、結局福祉が切り捨てられる。

国際化のもとでは、防衛費、経済協力費、先端技術開発費の予算が年々確実に増え、情報化では、東京を国際金融都市へとする都市開発が進み、高度情報化社会への転換がはかられる。

こういった政策の中で「最も痛みを押しつけられるのは国民だ」と関教授。

円高、産業空洞の中での、中小企業の倒産、失業、雇用不安など。また、農業、地域産業の破壊、大型間接税導入、福祉の負担など、すべてのことが、国民の肩に重くのしかかってくる。

そんな状況に国民が対抗する方法は、民主的な日本国憲法を守ることだ。

「幸い、今、憲法だけは私たち主導のもとにある。現平和憲法のよさを多くの人たちが知り、これを守るように訴えることが、現状を阻止する基軸になるだろう」

こう話す関教授の話に、約五十人の参加者は大きくうなずき、自分たちの暮らしを守るためにガンバロウと新年の誓いを新たにした。

食事から見た女性史

「日本の食生活全集」について〈上〉

庶民の暮らし浮きぼり

第19回配本「聞き書、東京の食事」

農山漁村文化協会（農文協）の「日本の食生活全集」が、この二月に刊行された「聞き書・東京の食事」で十九回目の配本を迎えた。この全集は、昭和五十九年九月に「岩手の食事」が出たのを皮切りに、六十年四月に「長崎の食事」、以降、隔月に刊行されている。

これは、日本人の庶民の食事を大正から昭和の初期に焦点をあわせ、当時実際に食事を作った人に聞き書きし、各県ごとに一冊の本にまとめたもの。たべものの本は数多くあるが大ていは料理書かグルメ書。ふつうの日本人は毎日何を食べていたのか、本当の郷土の味、食を実証しようと企画された。大正～昭和初期にしぼったのは、日本の食事の根元が継承された最後の時代であり、それを自分自身で作った人々であり、しかも現存して（七十～八十歳代）いて聞き書きができるということである。

この試みは、単なる"食べもの話"にとどまらず、大正・昭和初期の庶民の女の暮らしを浮き彫りにもした。"食事の民俗学"あるいは"食事からみた女の歴史"とでもいったこの全集は、各方面から注目を浴びているが、全集が半分近くまで刊行されたいま、この全集制作の苦心などを聞いてみた。

トチの実団子をつくる…。奥多摩町で
写真提供・農山漁村文化協会 編集部

「東京の食事」の編集委員長の一人である渡辺善次郎氏は三年前、編集委員を委託されたとき、しばらく考えこんだという。この全集は各県毎に編集委員会をつくり、その地のたべもののことにくわしい適任者に委託するのだが、誰を選ぶかで毎回頭を悩ませるという。料理の専門家は多い。栄養学の先生もたくさんいる。だが、庶民の食事の研究家など、まずいない。

東京の場合、渡辺氏に白羽の矢が立ったのは、渡辺氏が農業経済を専門にし、都市と農村の物質循環と、その歴史の研究家であること。深川生れで東京の下町のことにくわしいというためだった。

はじめは"大都市東京"で、他県のような郷土食、独自な食事があったのかも疑問だった。もし、これがなければ"東京の食事"自体が成立不能になる…。文献もあさったが、うまい食べ物屋（名店）、最初にできた西洋料理（レストラン）などを書いた本はあっても、庶民の食事を書いた本は全くなかった。委員会には、栄養学や食物学の専門家もたくさんいたが、誰もわからなかった。

結局、聞き書きで庶民の食事の実態をさぐるしかないと精力的に採取。さまざまな地域でそこに長く住み、料理好きで記憶力のいい人を探すのが一仕事で、あらゆるツテをたより、都心の女学校の同窓名簿をひっくりかえし、まず"人"を求めた。「東京の食事」に出てくる、主な"登場人物"は十三人。ほかに"話を聞いた人"として名前の出てくるのは八十人だが、会ったのはその数倍、少くとも三百人以上という。

聞き出すのも大変だった。どんなに記憶力の確かな人でも、五十年、六十年前に作っていたもの、食べていたものを思い出すのは容易でない。祭りや新年や、そうした"晴れの日"の食事は誰でもよく覚えているが、ふだんどんなものを食べていたかと聞くと、誰でも、サア(?)。思い出してもらうため三回も四回も通う。聞きとりも戦後生れの人が担当すると、しばしば立ち往生した。「七輪」とか「ほうろく」とか、おばあちゃんがいう"当り前の個有名詞"のイメージがわかないのである。

「まあ、ふだんの食事の内容は現実より少しいいかもしれませんよ。僕ら、あのころ、ふだんにはろくなものを食った覚えがないから…」（渡辺さん談）

こうして採取した話が、代表的な例として深川（左官職人）、浅草（かばん職人）、人形町（商店）、大崎（地主）、四谷（勤め人）、大森（のりづくり）、そして葛飾、武蔵野、多摩、奥多摩の農家、伊豆大島（半農半漁）などのある一家の物語として描かれ、食を通して、当時の女のくらしまで浮き彫りにされる。

一見して感じるのは、同じ町場でも、農家でも、"晴れの日"の食事や習慣にかなりちがいがあること。これは地域差もあるが、その家の出身地の風習がかなり入っているせいもある。渡辺さんはいう。

「さまざま人がさまざまな暮らしをしている。それが東京だ、ということがわかりました。だから、読む方によっては、うちの食事はこの地域だが、ちょっとちがうといわれるかもしれない。それでいいと思っています。故郷の習慣が入ってきた多様性、それが東京の食事である、と。実際、純粋の東京人、なんてものはないんじゃないですか」

もう一つ"はっきりわかったことは東京湾の魚貝類、近郊農村が生産する野菜が、東京の食事の個性をつくっており、これは地方の各地と同じ、ということだ。

「今は練馬大根、亀戸大根、滝野川ごぼう、千住ねぎ…みな姿を消してしまった。今、大根は青首だけです。作りやすく抜きやすいという生産性だけでひろまってしまった…」

さらに、ほかの地域と大きくちがうことは、この時期の東京の食事の中に、いわゆる「和風洋食」がしっかり入りこみ、今の和洋混こうの、日本人の食事のルーツが見られることだ。コロッケ、トンカツ、カレーライスなどという料理が、庶民の家であたり前のように作られている。

「もともと"洋食"はエリートの家では、明治期から入っているようです。それが第一次大戦ごろから、サラリーマン家庭中心に広まる。決定的に庶民のものとなるのは震災後だと思うんです」（渡辺さん）

震災後、庶民も、外食の店に気やすく入れるようになった。一回食べてみればおいしい。マネてつくる。ガスの普及も、火加減を要する、複雑な料理を作りやすくした。それと見落せないのが"女学校の家事の実習で習って""婦人雑誌で見て"という理由。武蔵野の農家の主婦は"昔、奉公していた学者の家で覚えて"洋食をつくっている。舅からは"だらな（くだらない）料理ばかりつくるぐず嫁"と叱られるが、そういいながら舅も喜んで食べるので、気にせずつくったという。

こうしてできあがった「東京の食事」は、同全集が今までの刊行した各地の食事とも一味ちがった味わいの一冊となった。年輩の方々は、子どものころの食べものを思い出しながら、若い方は、おんなの歴史をも思いながら読むと、感興の深いものになるだろう。

「ドキュメント三宅島」

亀井淳 著 森住卓 写真

ドキュメント三宅島
亀井淳 著
森住卓 写真
大月書店

この十日に行われた村議選でも、NLP基地化反対の派が絶対多数をかちとり、全国の注目を集めている三宅島の闘争のルポルタージュ。

人口四千三百人のこの小さな島が、毅然として軍事基地に反対し、妥協せず闘う姿に、いつも感嘆していたが、その力がどこから来るのか、と思っていた。折々に読む、断片的な報道では、そこのところがわかったようでよくわからなかった。

このルポは、事実を歴史的に淡々と描き、ことの起りと反対運動の軌跡をくっきり描きながら、島の人びとの心情が、一人ひとりの個性がよみとれるようにこまやかに描いている。そして、結局、三宅の人びとが一時的な金だの"開発"といった美名に惑わされない、自然と静かな人間らしい生活を愛する人びとであるということがわかってくる。文中にもあるが、静かな島を"活気がない"（車が少ない）と見る防衛施設庁の人びととの根本的なちがいだろう。

しかし"国家"というものが、いかに人間の、人間らしい願いやくらしをふみにじるものか、怖しい気がする。だが、そこに住む人びとは、あくまで抵抗しながら人間らしさを忘れない。日射病で脱水症状を起して、倒れてしまった機動員を、自分たちのために用意した水を与えて助けるエピソードなど、すでに新聞などで報道された事実だが、やはり胸をうつ。

著者はなんども、三宅島に行き取材し報道したフリーのジャーナリストで、「文化評論」に随時連載していた「定点観測・三宅島」を土台に、ほぼ全面書きおろしたもの。島の人びとの心情を知りつくしているだけに、説得力がある。

ただ、冒頭の"噴火"が一〇月三日は……で始まるのは頂けない。三宅島の火山の噴火が、基地問題と深いかかわりがあるのは辛抱して読むうちにわかってくるのだが、あまり島のことを知らない人間には、なぜ基地の話に噴火…と思うし、年号なしに一〇月三日と来ても、いつの十月やら、大島三原山とごっちゃになり戸惑ってしまう。最初に誘致さわぎを書き、回想で噴火場面があった方がわかりやすそうだ。

グラビア写真が三カ所にまとめて入っているが、この説明が一カ所につめこまれているのもわかりにくく、不便だ。

（大月書店 千三百円）

お知らせ

◆ウィークエンド・ナイト・シアターVol・1

チェルノブイリ原発事故から二年を記念し、原爆の"笑いと恐怖"を描いた映画「アトミック・カフェ」（88分）を上映する特別企画。

日時…2月20、21、26～28、3月4～6日各日とも21時～ 場所…テアトル吉祥寺（☎0422・21・7662） 入場料…一般1500円、学生1300円（前売り1100）

◆FCT2月フォーラム「放送法改正案」について

日時…2月27日（土）13時30分～16時30分 場所…飯田橋婦人情報センター（セントラルプラザビル15F） 講師…田英夫さん（参議院議員）、服部孝章さん（東海大学助教授） 内容…郵政省が37年ぶりに乗り出した放送法改正案とはどんなものか 参加費…1000円 問合わせ…☎03・721・8694（竹内）FCT子どものテレビの会

◆1988・シンポジウム「働く女性の今日・明日」どうみる―パート・派遣・コース別雇用

日時…2月27日（土）13時30分～16時30分 場所…日仏会館ホール 問題提起…毎日新聞論説委員・増田れい子さん 報告者…女性の権利に関する委員会 入場料…無料 主催…日本弁護士連合会・女性の権利に関する委員会☎03・580・9841

◆いま、母子家庭が面白い―北海道母子餓死事件を考える

日時…2月28日（日）14時～ 場所…国立市福祉会館中会議室 内容…ビデオとお話（元母子相談員・白須礼子さん） 資料代…300円（保育付き） 連絡先…母子福祉を考える会・石原さん☎0425・76・1297、中川さん☎0425・75・9179

◆核も原発もいらない"反核独立太平洋の日"2・28（日）東京集会

日時…2月28日（日）13時～16時30分 場所…千駄ケ谷区民会館2Fホール（JR原宿駅竹下口下車徒歩5分） 内容…ドキュメンタリー映画「パシフィック」上映、「世界の核被害者」＝豊崎博光さん、「海のINF ヨコスカをトマホーク艦の母港にするな!」＝新倉裕史さん、「核と太平洋を語る」＝高木仁三郎さん、ミニ・ライブ＝フーミンズ 呼びかけ…日本カトリック正義と平和協議会（☎03・264・5714）、プルトニウム研究会（☎03・832・1977）、トマホークの配備を許すな!首都圏運動（03・498・6095）、反核パシフィックセンター東京（☎03・815・1648＝連絡先

◆3・3三宅島支援緊急集会―NLP基地建設絶対反対 ボーリング調査を許すな―

日時…3月3日（木）18時 場所…総評会館 内容…映画「怒りの三宅島」、発言＝三宅村村議、三宅島のみなさん、軍事評論家・前田哲男さん 入場カンパ…500円 主催…三宅島アクションボート実行委員会、三宅島東京支援協議会 連絡…☎03・423・0185

◆高級婦人服セール

日時…3月3日（木）10時30分～17時、3月4日（金）10時30分～15時30分 場所…婦選会館2階会議室 主催…日本婦人有権者同盟・財務部☎03・370・4541、2727

◆安全なものを食べることとは

日時…3月5日（土）18時～21時 場所…渋谷区立大向区民会館4階（渋谷駅から徒歩10分）☎03・462・0212 テーマ…安全なものを食べることとの社会性と政治性 講師…原子力資料情報室代表・高木仁三郎さん 主催…日本はこれでいいのか市民連合 問い合わせ…☎03・379・0043（18時以降）

◆女性問題課題講座

日時…3月5日（土）～6日（日）、10時30分～ 場所…神奈川県立婦人総合センター テーマ…ポストファミリーの時代 内容…3／5分科会＝10時30分～12時①「家族を支えるネットワーキング」フリー・ライター・久田恵さん、②「子供の世界再発見」横浜市民病院神経科医長・渡辺久子さん、③「夫・妻・子供の新しい関係づくり」婦人問題評論家・武田京子さん、男の子育てを考える会・星健男さん、全体会＝13時30分～15時30分、講演「浮遊する家族の時代」評論家・芹沢俊介さん、分科会報告、3／6「風のあるぺじお」上映10時30分～12時、13時30分～15時30分＝トークサロン「ポストファミリーの時代って?―家族のよみがえりのために―」映画監督・中山節夫さん、作家・沖藤典子さん、法政大学教授・田嶋陽子さん 定員…分科会50人・他500人 参加費…無料 申し込み…電話又は直接神奈川県立婦人総合センター生涯学習部☎0466・27・2111※託児施設有

◆長編記録映画「みんなでワークショップ」上映会

養護学校の子どもたちと地域の大人や子どもたちがつくる祭り「みんなでワークショップ」の記録

日程…横浜上映会＝3月5日（土）14時、生活クラブ旭センター☎045・365・2511、3月6日（日）14時、横浜市開港記念館☎045・201・0708 東京上映会＝3月11日（金）18時30分、安田生命ホール☎03・342・6705、3月12日（日）11時、14時、18時、四谷公会堂☎03・341・2991 「シネマトーク現代館」連続上映会＝3月20日（日）・21日（月）・26日（土）14時、18時、22日（火）・23日（水）・24日（木）・25日（金）18時30分、☎03・341・2893電話予約30名まで 入場料…前売り1000円・当日1200円 問い合わせ…「グループ現代」東京都新宿区新宿1―12―3☎03・341・2863

◆シュンとなる春闘はもうイヤ 女たちの怒りをつないで――3・8に

日時…3月8日（火）18時～21時 会場…渋谷区勤労福祉会館 内容…ゲスト＝三井マリ子さん、どくだみ、発言＝賃金差別裁判を闘う、労働時間延長に反対する、単身赴任と闘う、民営化の職場から他 会場カンパ…300円 主催…女の労働・わくわく講座実行委員会 連絡…☎03・402・3244

SOFT & FRESH!
WE CAN BAKE BREADS!
TOSHIBA
With You

TOSHIBA

エネルギーとエレクトロニクス E&Eの東芝

Ⓒ1987 by King Features Syndicate, Inc.

一気に一斤、160分
すばやく焼けるホームベーカリー。

こね始めから
焼き上げまで160分。
おいしくパンを焼く。

うれしいコンパクト設計
床面積をとらない省スペースのタテ型タイプ。キッチンに置いても場所を有効に活かせます。

パン屋さんと同じ「直種法」。
食パン1斤を焼き上げるまでたったの160分。パン屋さんと同じ生地こねで、ふっくら仕上げます。

おいしさうれしいコースセレクト
全自動コースのほかバターロール、食パンの生地だけを作るコースで、特製パンもOK。

東芝ホームベーカリー
パンDEおはよう
東芝ホームベーカリー
ABP-250S(W) 標準価格33,000円

●焼き上げ所要時間：160分 ●タイマー：12時間 ●消費電力：450W
●外形寸法：幅240×奥行270×高さ378mm ●重量：8.5kg

心と気の合うステキな技術
Quality & Fitness

※東芝ホームベーカリーには保証書がついています。お買い求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受取りください。

母の手料理

ワタを丸ごと使う

イカと大根の煮物

私が紹介する「イカと大根の煮物」は、母の母の味、つまりおばあちゃんの味です。料理といってもいたって簡単で、イカと、大根をイカのワタとともに味噌味で煮込んだもの。

しかし、魚類のワタを丸ごと使う料理はめずらしく、そういう意味では、捨てるところのない"省資源型"の庶民的料理ともいえるでしょう。

東北出身の祖母は、昔、よくこの煮込みを作ったそうです。海に近く、新鮮で安いイカが手に入ったことから考えられた経済料理のようですが、大勢の家族に何とか良質のたんぱく質と野菜をたくさん食べさせたいという、祖母の知恵と工夫を感じることができます。

子供の頃、祖母にこの煮込みを食べさせられた母は、ワタ独特のホロ苦さと渋さに、子供心を少々痛めたそうですが、今ではそのひなびた味がなつかしいと言い、わが家の食卓にも度々のぼります。

どちらかというと、子供より大人になってしみじみ味わうことのできる煮物です。冬場、大根は甘味が出て一番おいしい時。一度試してみてはいかがでしょうか。

作り方は簡単。まず、大根を三㌢ぐらいの輪切りにし、さらに半分か四分の一の大きさに切り、火にかけておきます。イカは、皮をむき、ワタと足をとり出します。ワタは破らないようにていねいに。ワタについているスミは、煮物が黒くなるのでとり除きます。

大根がある程度柔らかくなったら、輪切りにしたイカとバラした足を入れ、ワタを袋からしごくようにして入れます。イカは煮すぎるとかたくなるので、適当なところで、味噌を入れる。仕込みから仕上げまで三十分ほどの手軽さです。

この煮物を母に伝えた祖母は、高齢のため今、病院のベッドで冬を迎えています。食事も今のところおかゆや流動食だけ。春になって、もう一度煮物が食べられるようなったらうれしいのに。その時は、私がその味をまねて作ってみます。明治生まれの祖母と大正生まれの母。「イカと大根の煮物」は、三代続くわが家の味になりそうです。

立川市 篠田香織 28歳

みんなの本棚

歩き出すあなたに贈る本です

「テキスト現代女性読本」

神田道子＋女性の学習情報をつなぐ会編

テキスト現代女性読本
歩き出すあなたに贈る――
神田道子＋女性の学習情報をつなぐ会 編
三省堂選書 144

私たち「女性の学習情報をつなぐ会」は、都内や近郊で女性問題に関わりを持ち、各々活動していた女性たちが、もう少し広い場での情報交歓ができないものかと話し合い、三年程前に生まれた。

会合を持って話し合ううちに今や、私たちは一生の生き方でも価値感でも大きな変動期にいること。女性が家事・育児中心で一生を終わった時代から大きく変容し、男女共に家庭・職場さらに地域生活もと多面的な生き方を求める時代へと変わりつつあること。こうした時期、ひとりひとりの創造的な生き方を支える社会を作っていくには、女性の抱えている共通の課題（男性の課題でもある）を認識し問題解決に向けて、ひとりひとりが一歩をふみ出すことが必要であることを実感。そのためには、読むことで"女性問題とは何か"がわかる、学習材料として役に立つ本がほしいという話になり、自分たちの経験を生かして手づくりの本を作ってみようというふうに進展した。

それから、メンバーはセッセと東京都婦人情報センターに集まり、二年半程かけて、このほど『テキスト現代女性読本』という本を三省堂から刊行することができた。

また、本作りを手がける中で、昨年の統一地方選挙の折には、女性候補が一人でも多く当選してほしいと「女性の政治参加を楽しくすすめる会」と名づけ、サンカチーフ（政治参加とハンカチーフを掛けてネーミングした手ぬぐい）を作って売り、女性候補に資金カンパをするという活動もした。

一方、本として刊行するまで、聞き取り調査や資料に当たる等の準備ほか、テーマについて、数えきれない位の話し合いに多くの時間を要した。さらに日常生活の身近な事例・体験が多く盛りこまれた原稿を読み合い、激しい討論になることもしばしば。自分の内なる女性問題を洗い出される苦しい作業だった。

しかし、文を綴り、一つのものを練りあげる共同作業は、作る喜び、知る喜び、仲間とつながる深い喜びを味わう得難い体験であった。だから、この本は女性研究者と実践を重ねてきた女性が、討論しながら一緒になって作り出す過程も含めて、理論と身近な体験の結びついた新しい試みの本といえるのではないかと思っている。

本書の構成は、第一章「女の一生と女性問題」で、女性の一生にみられる様々な問題を誕生から老後まで時を追って、身近な事例で具体的に捉え、第二章「女性問題とは何か」で、一章の多様な問題を共通の原因を持った問題として捉える理論的材料を提供。第三章「女性の歴史と現在」は、私たちが女性の歴史の中でどのような位置についているのかをつかむための章。第四章「現状をみつめる」では現在の女性の生活を女性問題の視点からプラス・マイナスという両面性で捉え、男性の生活についても視点を向けた。第五章「解決に向けて」では、解決に向けて歩き出す時の基本的視点とひとりひとりの課題を示した。

関係性としての自立を重視する

特に、ここで生活的、経済的、精神的自立と並んで関係性としての自立を挙げ、自立を支えあい高めあう関係を作ろうと提案。自立がともすれば「自分は自分」と孤立になる危険性を秘めている昨今、新しいあり方として関係性としての自立を重視した。

本書が一人でも多くの方にこの本を読まれ、女性問題の学習テキストとして広く利用されればと思う。

女性の学習情報をつなぐ会 西山恵美子

いま青森の女が燃える

ストップ・ザ・核燃！一〇〇万人の全国署名

青森の女です。いま青森では女たちが、「ストップ・ザ・核燃！一〇〇万人全国署名」を集めようとがんばっています。青森県六カ所村につくられようとしている。核燃料サイクル建設中止を求めるものです。

私たちは、放射能に汚染された故郷を子孫に残したくないという思いでたちあがり、女たちのネットワーク「りんごの花の会」をつくりました。

昨年四月「核燃まいね！」の意見広告運動、十月には青森市に女たちが集まってデモを行いました。そして、この署名運動となりました。全国どこの人でも、いや外国の人でもかまいません。趣旨に賛同する方は協力してください。

※協力してくださる方は事務局へ連絡してください。

「りんごの花の会」千葉仁子☎0172・88・1967▽宮本久美子☎0172・28・0888▽安井朝乃☎0172・36・6958

青森A・U

読者のひろば 女&男

女から見た嫁不足とは

フィリピン花嫁を考える会

実態を聞き驚く

先日、東京のフィリピン花嫁を考える会主催の「女から見た"嫁不足"とは?」に参加した。日本の農家の嫁不足のために"花嫁"として日本へ来るアジアの女性は増え続けているが、その実態は一部マスコミが伝えるように"幸せ"な姿ばかりでなく、陰では風土、習慣になじめず病気になる女性も多い。中には「どうしても夫を愛せない」と、わずか二カ月半で帰国してしまう"花嫁"のケースもあるということを知らされた。

さらに驚いたことは、この結婚に、行政や民間の結婚仲介業者が介入しているということだった。秋田県の増田町では、町長自らが会長となって結婚を仲介する民間の国際交友協会を作り、二百万円近い費用をとって、現地での見合いから結婚式まであっせんしているという事実。

結婚は人身売買ではないのだ。

いくら日本の農村での嫁不足が深刻とはいえ、本来、個人の自由意思であるべき結婚に行政が介入、解決を外国に求め、しかも行政"お墨付き"の民間仲介業者がそれを商売にするなんて。衝撃的な話だった。

そんな図式に、私はいくつもの矛盾を感じ、「フィリピン花嫁」は多くの問題を含む、自由意思による国際結婚とは意味の違う、国際結婚形式なのだと気づいた。

だいたい農村の嫁不足の原因は、減反などで将来に希望のもてない農業、男尊女卑の古い体質、それと嫁を子孫繁栄、お家存続のための者とする、女性の人格を無視した考え方などが背景にあげられると思う。

女性にとって魅力のないことばかりだ。

グループに分れた討論では「都会の嫁も企業戦士と銃後を守る妻だ」という発言もあった。こうなると「フィリピン花嫁」問題は、男女のあり方や日本の結婚制度そのものをも問い直すきっかけにもなる。いよいよ根が深いと思った。

東京 ふきのとう

狂乱バレンタインデー

私もひとこと

"狂乱"のバレンタイン・デーが終った。十日も前から、デパートなど、チョコレート売り場は女性の熱気であふれかえった。中には"義理チョコ二十枚"とまとめ買いをするOLも。もらった方は三月のホワイト・デーにキャンデーをお返しするというから大変。もうかるのは業者だけだ。

もちろん贈る方も、贈られる方も、そんなことは百も承知、余裕で楽しんでいるのだろう。

が、何人かに一人、バレンタイン・デーを"一年でただ一日、女性から愛を告白できる日"と、真剣に考えている女性がいないだろうか。

前置きが長くなったが、要するに言いたいのは「女性は一年三六五日、いつでも愛の告白していいのだ」ということ。「この人」と決めたらプロポーズだって自分からすべきだ。

活発な若い女性が増えている反面、その点では妙に保守的な考えをする人がいて不思議だったので、大きなお世話と思いながらも、オバさんから一言。

大阪 吉田久子

あわせ鏡

"お骨よどこに?"

大学時代の友人が、老人ホームの施設長をしている。先日、久しぶりに会った時、こんな話をしていた。

老人ホームの入居者が危篤になったので、子ども達に連絡するが誰も来ない。葬儀にも来ない。とにかくお骨を引きとって欲しいと身よりの方達に伝えても知らん顔。息子に強く言ったら、「じゃあ宅急便で送ってくれ」と言ったそうだ。

まったく、今の世の中どうなっているんだ!と彼は怒る。

またある人は、父親が亡くなっても、「父の最後はどうでしたか?」と聞くでもなく、悲しむでもなく、父親が大切に積立てていた年金の通帳を何も言わずにサッサと持っていく―。

また、ぼけた老人の義娘がやって来て、「子どもの入学金に使いたいので、おばあちゃんの年金の積立を出してくれ」という。

おじいちゃんやおばあちゃんを見舞に来て身のまわりを気遣うでもなく、近況を聞くでもなし、最近の老人ホームの裏側は、寒々しいことが多くて、良いことばかりではないよ、と彼は白髪の頭をなでながら、大きなため息をつくのでした。

東京 KOBAYASHI

原稿募集

もやもやした出来事があちこちで起こっています。こういう時だからこそ、一人ひとりが声をあげたり、自分の考えをハッキリ言うことが大切なのです。こうした読者（読者でなくても）の声を、当紙ではドンドン掲載していくつもりです。

☆あなたの考えや活動報告、身近に起った出来事、呼びかけ、こんなことおかしいのじゃないと思ったこと、詩、短歌、川柳、風刺画ほか。

☆四〇〇字詰原稿用紙一～三枚程度。

☆氏名、年齢（書いても書かなくてもよい）、住所、電話番号を、また、所属のグループ名、住所を原稿用紙に記入し、左記へ送って下さい。

〒160 東京都新宿区西新宿三の七の二八 宝幸西新宿ビル 全国婦人新聞社編集部。

母の手料理＝子供の頃食べた味、母から教えてもらった料理、地方に伝わる料理など、思い出と簡単な料理法を入れてお寄せください。

あわせ鏡＝生活の中でふと思ったこと、社会の動きをみて思ったことなどを気軽に書いて、どしどしお寄せください。楽しい紙面にしようと思います。

三宅島に応援に行こう

米軍の空母艦載機の離着陸訓練用飛行場

三宅島に応援に行きませんか。いま、三宅島には米軍の空母艦載機の夜間離着陸訓練（NLP）用の飛行場がつくられようとしています。

島の婦人や老人をはじめ島民の八五％の人々が「基地」の建設に反対して、非暴力の阻止闘争を続けています。しかし、国は昨年の七月、九月に機動体を導入して気象観測柱を強行建設しました。また、竹下内閣は、八八年度予算にボーリング地質調査費として三億三千万円を計上しました。島の人達は驚き、怒っています。

三宅島問題は、核を持つといわれる米軍の攻撃型航空母艦の支援基地が三宅島につくられるということと同時に、世界的にも有数な緑と野鳥の島が汚されるなど、さまざまな問題が含まれています。こうした問題を直接、島の人達と話してみませんか。

〈日程〉三月十八日（金）～三月二十日（日）の二泊三日（船中一泊）。十八日…夜十時に東京・日の出桟橋を出航。十九日…バスで民宿へ。午前中バスに分乗し島内一周。午後は自由時間。夕食後、数グループに分れて「三宅島NLP基地建設に反対する会」の人々と交流。二十日…午前十時～十二時大交流会。夕方東京着。

〈費用〉一万八千円。二等往復船賃、三宅島での民宿代（含む到着日の朝食、夕食、翌日の朝食）、三宅島一周観光バス代、三宅島"反対する会"への記念品代、資料費、その他。子供の場合は（六歳から十二歳まで）は一万円。六歳未満は五千円。

お年寄りや、病弱の方も参加できます。一等船室を利用すれば楽に行くことができます。その場合は、片道四千円の追加が必要です。

☆神田香織さん、小室等さん、中山千夏さんをはじめ、さまざまな方に乗船をお願い致しておりますので、多彩な交流ができると思います。

〈問い合わせ〉151東京都渋谷区千駄ケ谷4丁目29番12―305号☎03・423・0185「三宅島アクション・ボート実行委員会」

甘夏みかんはいかが

甘夏みかんと取り組んで十二年になります。

農産物の輸入問題、みかんの暴落など厳しい状況ばかりですが、六十軒の生産者を中心に生産委員会は、無・低農薬でおいしい甘夏づくりに取り組んで来ました。

結果、きれいなみかんを作るためには、農薬を大量に何回も使用しなければ作れないというのはウソで、作る者がよく観察し、手を加えることによって、無・低農薬でも立派なみかんが作れることを証明することができました。

また、消費者の方も、農薬のついた食物を絶対望んでいないということも確信しました。

同志会の甘夏は、年三回以下で、七月以降は農薬を散布していません（普通、農協を通して市場に出まわる甘夏は、年十五回前後、十二月まで農薬が散布されます）。

同志会のものは、除草剤・防腐剤・ワックスは一切使用していませんので、安心して皮まで利用した料理もできます。

いままで、苦情の中で一番多かったのは、「生産者間の箱のバラツキ」という問題でした。甘夏は、玉の大きい方がバランスがとれて美味しいといわれますので、今年から出荷基準を、八・五㌢以上から八・八㌢以上に変更しました。

今年の甘夏は酸味が少なくて甘く、病気も黒点病ぐらいで上々のできです。ぜひ食べてみて下さい。

◎一箱十五キロ㌘入り（四十個前後入り）が三千円。送料は実費で。集会、バザーなど配達日に指定がある時は、その日にちと場所を指定して下さい。

贈答など、配達先、申し込み先の請求先が違う場合は、その旨をハッキリ書いて下さい。

申し込みは、ハガキか電話で左記にお願い致します。

熊本県水俣市袋仏石三四☎0966・63・5270 ㈶水俣病センター相思社内"水俣病患者家庭果樹同志会"まで。

振替熊本5―11806

また、歯ざわりのよい"寒漬け大根"もあります。四百㌘（スライス済み）七百円です。いっしょにお申し込み下さい。

みんなで見に来てね

女たちの映画祭発足10周年記念作品

「アウシュビッツの女囚」

女たちの映画祭発足10周年記念作品上映会へどうぞ

「アウシュビッツの女囚」…二月二十七日～三月十一日

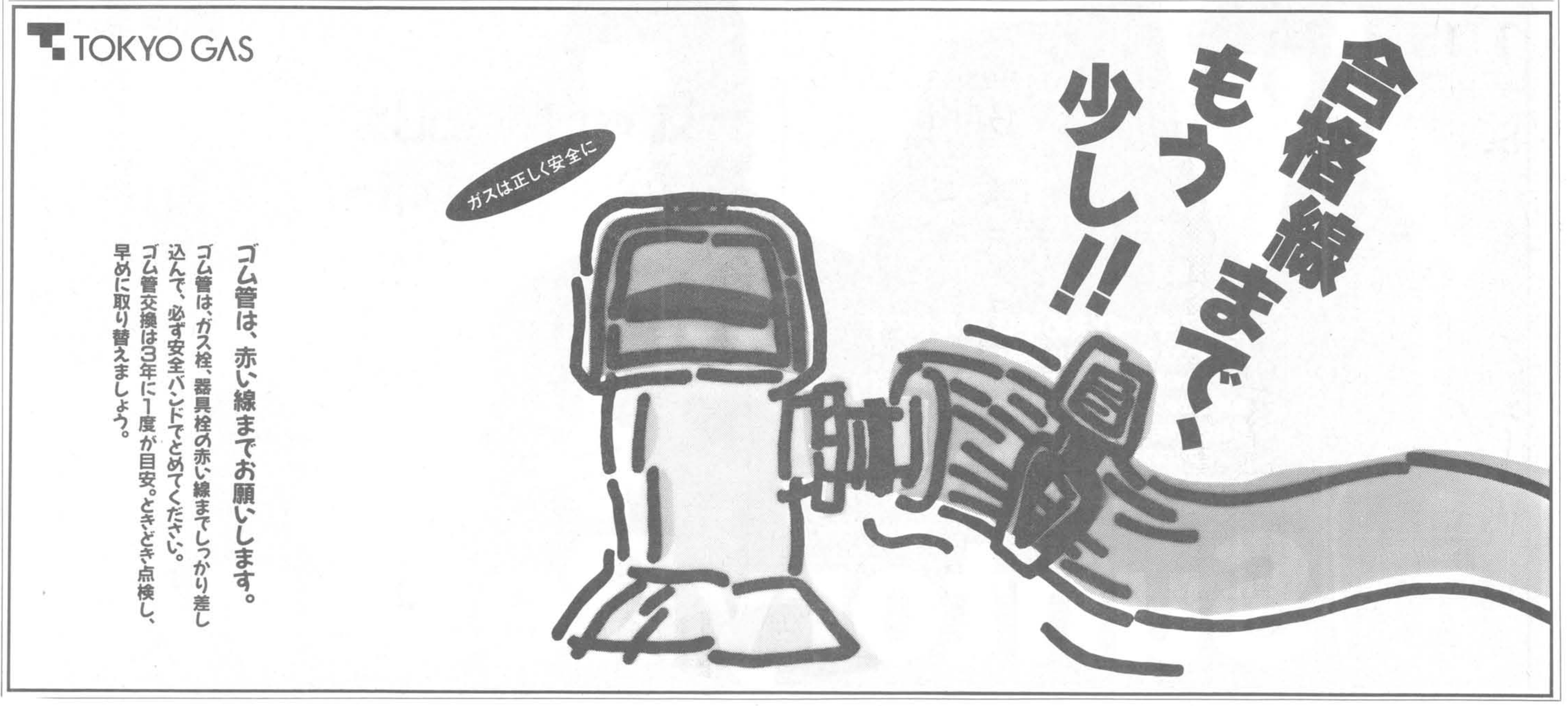
「招待」…三月十二日～三月二十五日

場所…岩波ホール（03・262・5252）＝地下鉄（都営三田線・新宿線）神保町駅下車一分。JR（中央線）水道橋駅、お茶の水駅下車七分。

上映時間…平日＝12・30 3・30 6・30 日・祝＝11・30 2・30 5・30

観賞券…特別セット券＝2000円 特別鑑賞券＝1200円（当日は1500円）プレイガイドにて発売中

主催…女たちの映画祭☎・370・6007



TOKYO GAS

合格線まで、もう少し!!

ゴム管は、赤い線までお願いします。

ゴム管は、ガス栓、器具栓の赤い線までしっかり差し込んで、必ず安全バンドでとめてください。ゴム管交換は3年に1度が目安。ときどき点検し、早めに取り替えましょう。

〝性について語り合おう〟

表現の自由を求めて

パネル討論会　文化的土壌とポルノ

性教育の必要性が言われている。では、誰がどのようにやったらいいのか、という問題になると、口をつぐんでしまうのが現在の日本の現状ではなかろうか。性について大いに語ろうと、東京・渋谷のクレヨンハウスでは、『性についてなんでもわかっちゃう展』（二月二十八日まで）と平行して、「ビデオとお話…北沢杏子と語ろう　どうして私が生まれたの?」や「対談＋シンポジウム」などの催しが行われている。十一日に行われたパネル討論会「日本の文化的土壌とポルノ」をのぞいてみた。

落合さん

北沢さん

藤本さん

クレヨンハウスの催しのぞく

「個として性を考えよう」と言う福富さん（左２人目）

性についてなんでもわかっちゃう展

会場は、立ち見が出るほどの盛況ぶりで、熱気でムンムンし時々クーラを入れるほど。

最初に、二十年間にわたって漫画の研究しているという藤本由香里さんが「漫画にみる性意識」というテーマで問題提起を行った。

藤本さんは「ポルノ誌、青年誌から少年誌に、一貫して流れている男性漫画の中の性意識は、〝性（女性）〟は男性の欲望、快楽の対象であるということ」だという。

少数の例外として、一九七〇年代の初めに、柳沢きみおが「翔んだカップル」という漫画をかいた。少年漫画に初めてキャラクターのある女の子が登場した作品であったが、少年漫画の少女漫画化とも言われた。その他に立原あゆみの「ぼくはウィリー」などもあげられる。こうした少数の例外を描く、性を「関係」としてとらえられる男性作家は、少女漫画の出身者に多い。

「男の性意識は基本的にはかわっていないが、女性に引きずられるような型で、別の視点がでてくる構図がある」

一方、女性漫画では、社会における性や愛の価値観の変化が如実に現われているのが少女漫画だという。その変遷をたどってみると、十五年ほど前は、少女漫画にセックス・シーンはタブーだった。が、大ヒットした「ベルサイユのばら」によって〝生涯でただ一人の人〟と決めた相手なら許される風潮がでてきた。ロマンチック・ラブ・イデオロギー（愛＝性＝結婚の三位一体）の典型だと藤本さん。しかし、現在では少女漫画も〝初体験もの〟までになっている。

少女コミックになると、憧がれという型でベッドシーンが登場するし、高校生以上を対象にした漫画だと、もっと日常的でリアルな悩み、妊娠、中絶などが描かれている。そして、セックスは自分の気持を確めるために男と寝るといい、生涯にただ一人の人という価値観は崩れてしまっている。が、少女たちは、それなりに真剣に考えており、〝愛と性〟の関係はいまなお密であるとも言う。

「怖れとして性を知る女の子と快楽、欲望として性を知る男の子の間に深い対立を知ることができる」

レディースコミックになると、快楽だけを扱った底の浅いものが多くなる。

「少女漫画とレディースコミックの間に、かなりのギャップがある。これは、日本の性状況を反映しているのです。処女でなければ、あとは一緒、大人なら何でも許されるというふうな。いま、年齢を超えて持ち続けられる性モラルが薄い。性的接触の程度を問題にするよりも、処女だろうが非処女であろうが、大人、子供、女、男であろうが一貫して持てる新しい性モラルの模索こそが求められているのではないか」と藤本さんは言う。

パネル討論会では、男は女を犯すことによって強くなる、女にも強姦願望があるといった、男が創りだした性に対する日本独特の土壌があり、ポルノ誌や大人の男性漫画が、さらにあおりたてている。女性を商品化したポルノは差別である。こうした主張に対して、一方では表現の自由をはばむものだという声があがる。表現の自由とはいったいどういうことをいうのか

――などが語られた。

まず、落合恵子さん（作家・クレヨンハウス代表）が、〝女性の性は犯される対象ではない〟と問いかけた自作の小説『ザ・レイプ』を紹介した。

落合さんは小説の中で、強姦する男のペニスは凶器であると言い切る。

男の凶器で、一方の意思や人格、人権を踏みにじる行為が強姦なのだ。それなのに、男の作家の描くポルノでは、犯される女も快感をかんじるなどと男勝手な論理をふりまき、強姦のすすめをしているものが多い。

さて、落合さんは『ザ・レイプ』の中で、女性の検事にこうも言わせている。「強姦が犯罪として立証しにくい社会は、人間の片方の性である女性の人格そのものを軽く見る社会といえます。同時に、それは女性のパートナーである男性の人格、つまり人間そのものを軽視し、切り捨てる社会ではないでしょうか…」と。表現される自由は無視し、一方的に表現するポルノは、この強姦と同じであることは言うまでもない。

小説やテレビ、雑誌、広告など日常生活の中で女の人権は大いに犯されている。「この様な差別に対して、私たちはもっと過敏になり、声をあげていくことが大切」と落合さんは言う。

「性を描くことが問題ではなく、描き方、内容が問題なのだ。また、ポルノの中にある差別に対する視点が必要だ」と言うのは、福富護さん（東京学芸大学助教授）だ。

いろんな調査によって感じることは、性の中にある差別に対する認識が、全体的に低いことだという。

「性というのは、生きる価値観にふれる問題だと思っている。自分は男だから、女だからと社会通念的な考え方をすると、自分自身を見失ってしまう。個としての自分がどう考えるか、その上でポルノ、性について語りあうことが大切なのだ」という。

続いて、全国各地の学校で、楽しい性教育を続けている北沢杏子さん（教育評論家・性を語る会代表）は、最近起った性に係わる事件をいくつか紹介し、事件の中の加害者も〝女を犯すのが男〟という表現で色ぬられた漫画やポルノ誌を読み、感化されて起した行動であり、彼等たちもそうした文化の被害者であるといい、

「最近のポルノの傾向として、縄でしばったりサルグツワをはめられたりしたものが多くなっている。ポルノのモデルの女性たちは自由を奪われ、沈黙を強いられている。ポルノで表現の自由を言うならば、表現される側も自由でなければいけない。一方だけが自由に表現するのは、表現の暴力以外、何ものでもない」という。

そして、売春婦がモデルで、男たちの酒の肴にさらされていたのであろうという説もあるミロのヴィーナスは芸術作品か

――など、おもしろい意見も飛びだした。

最後に、落合さんは〝原爆に反対します〟という雑誌の意見広告を見せながら、「性というのは、性のみを取り出して言えるものではなく、生きることと考えれば、原爆に反対することや戦争に反対することなどと全部一つなのだ。表現する側とされる側が平等になった時、本当の表現の自由と言える。生と性を大人自身が大切にした時、はじめて子供に何かを伝えることができるのだし、生きることを大切にしたい」としめくくった。

新製品紹介

モルトテイスト清涼飲料

テキサスライト

全国に本格発売中

TEXAS LIGHT
TEXAS LIGHT
DARK

キッコーマン株式会社では、このほど、低アルコールのモルトテイスト清涼飲料「テキサスライト」を全国で本格発売した。

同製品は、同社がアメリカのジェー・ビー・アンシエーツ社から輸入、昨年の秋から一部限定ルートで販売していたが、これを、全国的に発売しようというものだ。

「テキサスライト」はラガータイプとダークタイプの二種類。普通のビールと同じ製法で醸造後、アルコールを〇・五％以下にしたもので、モルトのコクとおいしさは、ビールに引けをとらず、しかもカロリーは二分の一。ランチや、スポーツ、パーティなどでアルコールが飲めない人でも気軽に飲めるのがうれしい。

三五五ミリリットル入り二百円。

自己管理をしっかりしましょう

歯医者の上手なかかり方

できるだけ我慢をして、痛くてどうしようもなくなってから、歯医者へ行く…。こうしたパターンの人が多いのではありませんか？

日常生活の中で、歯医者に通院するのは、確かに大変なことですが、痛くなったり、気になってからでは、遅いのです。治療期間は長くなり、苦痛が伴い、ますます通院が億却になってしまうのです。

そこで、今回は大人の場合の歯科医の上手なかかり方のポイントをお知らせしましょう。

まず、しっかり頭に叩きこんでおいて欲しいのは「虫歯になった歯は、自然には元通りに治らない」「虫歯は外観よりも、歯の中で大きくなっている場合が多い」の二点です。

虫歯は、できてしまえば進行するだけ。早目に治療するのが一番よい方法です。

さて、歯科医にかかったら「悪いところを治し、その後、悪いところを作らない努力」をすること。これが歯科医に上手にかかるポイントと言えます。

特に次の三項目をできるだけ早く、実行することをお奨めします。

①何も異常を感じなくても、一年以上歯医者さんに行っていない人は、歯の健康診断を受けましょう。現代人の八七％が虫歯で、四五％の人が歯周疾患で悩んでいます（昭和五十六年歯科疾患実態調査より）。異常がなければ安心できるし、あっても早期に発見できるので、治療期間や苦痛も少なくてすむ筈です。

②自己管理をしっかり行ないましょう。歯の磨き方の指導を受け、就寝前の歯磨きは、十分間程かけて丁寧に。

③定期検診を受けましょう。異常が早く見つかる上、自己管理が正しくできているかチェックでき、アドバイスを受けられます。

健康は歯から、と言われます。ＷＨＯ（世界保健機構）では、健康について①肉体が生理的に機能していること②精神的に安定していること③仕事が軌道に乗って社会に調和していけること、の三点を満たしているものと、定義しています。

そして、健康を維持するための三大要素は、栄養、活動、休養。食事のバランスが充分か、仕事や運動の調子はどうか、休憩、睡眠は充分とれているか、チェックしてみて下さい。

今や、人生八十年時代。いつまでも白くきれいな歯と、ひきしまったピンクの歯肉を持ち続けていきたいですね。

まず、悪いところを治す

異常がなくとも年１回は定期検診を

次に悪いところを作らぬ努力

【受診の心得】

①健康保険証を忘れずに。

②よく歯を磨き口の中をきれいにしてから通院します。

③リラックスした服装で。

④予約時間を必ず守り、五分前には受け付けをすませましょう。

⑤診療室に入る前に、口紅は取ります。

⑥都合の悪い時は、なるべく早く連絡をしましょう。

⑦治療中の歯は、特に大切にしましょう。

⑧体の調子が悪い時は、歯科医にその状態を話しましょう。

⑨治療が終了するまで、頑張って通院しましょう。

⑩治療が全て終了しても、半年が一年に一度は定期検診を受けましょう。

（資料提供　ライオン歯科衛生研究所）

一生自分の歯で食べたいですね

痛くてどうしようもなくなってから行く人が多いのではありませんか

てんらん会

◆第31回安井賞展

具像絵画作家の登龍門といわれる同賞の今回受賞作品、櫻井孝美「１９８６年／１９８７年夏」、佳作の覚本生「パリのキャフェ」をはじめとする70点の作品を展覧。

会期…2月20日（土）～3月8日（火）　会場…西武美術館（西武池袋店12階）　入場料…一般700円、学生500円　問い合わせ…西武百貨店広報室☎03・989・4580

輸入品から国産まで六十点を販売

◆アンティークピアノフェア

アメリカ、ドイツ、イギリスから輸入したアンティークピアノ・オルガンの逸品や国内で初めて作られた「足踏みオルガン」の展示ほか、この中から約60点を販売する。

会期…2月26日（金）～3月2日（水）　会場…西武池袋店7階催事場　入場…無料　問い合わせ…西武百貨店広報室☎03・989・4580

SUNTORY WHISKY
Suntory SPECIAL Reserve WHISKY
Suntory Limited

名作は、まず香りたつ。
新リザーブ誕生。

ウイスキーの決め手は、モルトです。
グラスが華やかに香りたつのは
大麦の麦芽からつくるモルト原酒が美しく熟成しているからです
重厚な山崎シェリーウッド樽12年もの、
芳醇な白州モルト10年もの
この2つのモルトを柱に20数種の原酒を
バランスよくブレンドしました
モルトの力を実感する新リザーブ、好評です
サントリーリザーブ760㎖3,570円（標準的な小売価格）製造・販売 サントリー株式会社 飲酒は20歳を過ぎてから

Suntory Reserve